

甲賀広域行政組合  
サウンディング型市場調査 対面対話  
結果概要

1. サウンディング型市場調査の実施概要

甲賀広域行政組合（以下「組合」といいます。）は、甲賀市および湖南市における将来の一般廃棄物処理体制の検討にあたり、民間事業者の知見・提案を幅広く把握し、持続可能かつ効率的な処理体制の構築に資することを目的として、サウンディング型市場調査（以下「本調査」といいます。）を実施しました。

（1）実施経過

本調査は、以下のとおり実施いたしました。

実施要領等の公表	令和7年10月20日
質問書の受付	令和7年11月7日
質問書に対する回答書の公表	令和7年12月5日
対面対話	令和8年1月27日～2月9日

（2）参加事業者数

本調査には、9事業者に参加いただきました。

（3）主なサウンディング項目

- ・ 処理方式
- ・ 事業手法、公民分担
- ・ 概算費用
- ・ 必要敷地面積
- ・ 緊急時のリスク対応
- ・ 施設の多面的利用
- ・ 実現に向けての課題など

2. 本調査の結果概要

本調査の結果概要を、以下に示します。

処理方式
・ 焼却処理、焼却処理とバイオガス化の併用、トンネルコンポスト、亜臨界水処理の提案が示されました。
・ 産業廃棄物との混焼により熱量を確保し、燃焼効率の向上を図る提案が示されました。

事業手法、公民分担
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公設公営、公設民営の事業手法で一般廃棄物処理施設を整備する提案、公共が民間事業者処理を委託する提案、官民連携型の提案(民間事業者が産業廃棄物処理とあわせて組合の関与のもとで一般廃棄物の処理を行う)がありました。</li> </ul>
概算費用
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たに公設公営、公設民営方式によって一般廃棄物処理施設を整備するよりも、甲賀市および湖南市の財政負担が軽減され得る提案がありました。</li> <li>・ 現時点では不確定要素が多いことから、概算費用等の詳細まで示されていない回答が見られました。</li> </ul>
必要敷地面積
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処理方式や想定処理能力により、必要となる敷地面積は異なる結果となりました。</li> </ul>
緊急時のリスク対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近隣施設との連携等の回答がありました。</li> </ul>
施設の多面的利用
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熱エネルギー回収による発電をはじめ、施設の多面的利用に関する提案が複数示されました。</li> </ul>
実現に向けての課題など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案内容の実現に向けた主な課題として、処理後に生じる生成物の搬出先の確保を含む資源循環の安定性の確保、ならびに先行事例の少なさに伴う不確実性への対応が挙げられました。</li> </ul>

### 3. 本調査を踏まえた今後の方針

本調査を通じて得られた多様な提案内容については、今後の甲賀市および湖南市における将来の一般廃棄物処理体制の検討に資する基礎資料として活用してまいります。